

人権推進課

1 人権尊重のまちづくり推進事業

平成 13 年 1 月に施行した「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき策定している「三木市人権尊重のまちづくり基本計画」（以下「基本計画」という。）を実行に移すため、全ての行政分野における人権行政の確立に向けた全庁的な取組として「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」（以下「実施計画」という。）を毎年策定し、関係各課が計画した事業の推進に取り組んでいる。

現行の「基本計画（第 3 次）」の計画期間が令和 6 年度で満了することに伴い、令和 6 年度中に「基本計画（第 4 次）」（計画年度：令和 7 年度～13 年度）を策定することを受け、令和 5 年度には「三木市人権に関する市民意識調査」及び「三木市男女共同参画に関する市民意識調査」を実施し、市民の人権意識の現状についてデータの収集、分析を行った。

(1) 人権尊重のまちづくり実施計画の推進

「実施計画」に関して、令和 5 年度の各課題に対する取組・推進状況を上期（令和 5 年 4 月～9 月）と全期（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）に分けて各部に提出を求め、三木市人権尊重のまちづくり推進審議会に報告の上、意見等を聴取した。

また、審議会での意見、各施策の取組状況を次の場所において公表した。

公表場所 市ホームページ、市役所情報公開コーナー、総合隣保館

(2) 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会の開催

「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、平成 13 年 6 月に三木市人権尊重のまちづくり推進審議会を設置した。

審議会の構成メンバーは、広く市民の意見を反映させるため、各種関係団体代表者と一般公募者、学識経験者の計 20 人で構成している。

ア 委員任期 令和 5 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日

イ 開催日 令和 5 年 10 月 31 日、令和 6 年 3 月 28 日

ウ 議題 「令和 5 年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画」上半期取組状況について
「令和 5 年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画」年間の取組状況について

(3) 三木市人権に関する市民意識調査

ア 調査対象 18 歳（令和 5 年 11 月 1 日現在）以上の市民 3,000 人

イ 調査期間 令和 5 年 11 月 1 日～12 月 15 日

ウ 調査方法 郵送による配付、郵送もしくはインターネットによる回答回収

エ 回収件数及び回答率

配付数	有効回答数	有効回収率
3,000	1,048	34.9%

(4) 三木市男女共同参画に関する市民意識調査

下記 3 男女共同参画事業(1)を参照

(5) パートナリシップ制度の導入に向けた準備

「三木市パートナーシップ制度」の令和 6 年 4 月 1 日導入に向けて、要綱の制定及び導入後に利用できるサービスの提供について関係各課と調整を行った。

また、医師会及び保育協会に、導入後のサービス提供について協力依頼した。

2 同和生業資金償還事業

昭和 50 年度から 56 年度まで実施した同和生業資金の貸付にかかる償還について、残る滞納者は 4 人、滞納額は、2,916,995 円(令和 6 年 3 月末)となっている。

滞納者に対しては、電話や文書、訪問などの方法を通じて個々の事案を十分に調査、把握し、それぞれの状況に応じた適切な償還方法で滞納解消に努めている。

3 男女共同参画事業

平成 11 年 6 月に施行された「男女共同参画社会基本法」及び平成 13 年 1 月に施行された「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、「三木市男女共同参画プラン（第 3 次）」及び「三木市男女共同参画プラン実施計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進している。

また、現行の計画期間が令和 6 年度末までとなっており、次期プラン策定の基礎資料とするための「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施した。

男女共同参画センターでは、「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識や、社会の制度や慣行の中にある偏った意識を変えていくため、講座の実施、女性のための相談事業、活動や交流の支援、情報誌の発行、情報の収集と提供を行っている。

また、女性たちがネットワークを広げることや女性の人材育成などの支援を行っている。

(1) 三木市男女共同参画に関する市民意識調査

- ア 調査対象 18 歳（令和 5 年 9 月 1 日現在）以上の市民 2,000 人
 イ 調査期間 9 月 8 日～9 月 30 日
 ウ 調査方法 郵送による配付、郵送もしくはインターネットによる回答回収
 エ 回収件数及び回答率

配付数	有効回答数	有効回収率
2,000	646	32.3%

(2) 三木市男女共同参画セミナー

ア 出前講座

回	開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
1	R5. 7. 19 緑が丘町公民館	黒崎輝美 (健康生きがいづくりアドバイザー)	女のものさし・男の定規	54
2	R5. 8. 22 自由が丘公民館	小川真知子 (特定非営利活動法人 SEAN 理事長)	少子高齢化時代の男女の役割	59
3	R6. 2. 4 青山公民館	斉藤容子 (関西国際大学客員教授)	男女(ともに)に学ぼう防災	30
4	R6. 2. 15 志染町公民館	橋田恵 (履正社高校女子野球部監督)	夢をかなえる～女子野球監督として～	39
5	R6. 2. 20 中央公民館	中村和子 (オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー)	私の気づきで地域が変わる～誰もが住んで良かったと思えるまちに～	66

イ 弁護士による法律セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R5. 11. 22	教育センター 吉倉美加子 (弁護士)	“YES 以外はすべて NO!” の認識を～ 性犯罪規定の改正で何が変わったのか～	会場:13 オンライン:9

ウ 出張！女性のための働き方セミナー（兵庫県と共催）

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R5. 7. 15	教育センター 川邊暁美 (言の葉 OFFICE かのん代表)	～伝わる話し方で～ 面接攻略セミナー	5

エ 男女共同参画セミナー（子育て支援課と共催）

開催日・場所	講師	内 容	参加人数
R5.9.9 教育センター	馬賣真人 (あそびうたユニット「かば☆うま」)	おとなもこどもも、全力で楽しむスタイル♪	28
R6.3.3 総合保健福祉センター	(料理指導) NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西 (ヨガ指導) 五百蔵夕陽	ママがヨガをしてる間にパパとハンバーガーを作っちゃおう！	16 (4組)

オ 男性のための簡単料理講座

回	開催日	講師・場所	内 容	参加人数
1	R5.9.15	三木市いずみ会 総合保健福祉センター	なすとがんもどきの煮物、春雨と魚介のサラダ、かきたま汁	8
2	R5.10.13		肉じゃが、きんぴらごぼう、豚汁	6
3	R5.11.21		さばのみそ煮、ひじきの煮物、鮭の粕汁、田作り（バター風味）	7

カ 女性のための再就職応援セミナー（ハローワーク西神と共催）

回	開催日	講師・場所	内 容	参加人数
1	R6.2.21	西神公共職業安定所 就職支援ナビゲーター 教育センター	履歴書・職務経歴書の書き方	8
2	R6.3.8		模擬面接セミナー	12

キ 女性リーダー育成講座「みきウィメンズすてっぷあっぷ塾」

回	開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
1	R5. 4. 17 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	今年度計画について	5
2	R5. 5. 8 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	高校生意識調査について	7
3	R5. 5. 31 教育センター	松尾やよい (夢こらぼ主宰)	高校生意識調査の設問内容に ついて	5
4	R5. 8. 26 市民活動センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	オープン講座に向けて	6
5	R5. 10. 31 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	高校生意識調査報告書作成	4
6	R5. 11. 23 市民活動センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー) 松尾やよい (夢こらぼ主宰)		3
7	R5. 12. 1 教育センター			3
8	R5. 12. 16 教育センター			2
9	R6. 1. 20 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー) 松尾やよい (夢こらぼ主宰)	フォーラム準備	3
10	R6. 2. 17 教育センター			3
11	R6. 2. 24 教育センター		ファシリテーター養成講座	3
12	R6. 3. 9 教育センター			フォーラムをやってみて

ク みきウィメンズすてっぷあっぷ塾オープン講座

回	開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
1	R5. 9. 3 市民活動センター	前田良 (Like myself 代表)	パパは女子高生だった～自分らしく生きること～	会場:14 オンライン:10
2	R5. 9. 23 市民活動センター	辻由起子 (大阪府子ども家庭サポーター)	つきあってるならこれって当たり前?～自分も相手も大切にするための講座～	会場:19 オンライン:15
3	R5. 10. 15 市民活動センター	上村茂仁 (ウィメンズクリニック・かみむら院長)	自分の生き方を自分で判断するための性教育	会場:13 オンライン:2

ケ みきウィメンズすてっぷあっぷ塾フォーラム

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R6. 3. 9	教育センター 榎本英樹 (あそびとお話のデリバリードコデモ代表)	自分たちの未来を考えよう～もう親と同じような生き方は難しい～	41

コ 北播磨管内女性リーダー交流会（北播磨管内男女共同参画担当課で共催）

回	開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
1	R5. 7. 2 教育センター	伊藤公雄 (京都産業大学教授)	男らしさのつらさって何だろう	32
2	R6. 3. 3 加西市地域交流センター	稲村和美 (前尼崎市長)	元気です！北播磨の女性たち Part2	52

(3) 男女共同参画週間記念講演会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R5. 7. 2	教育センター 伊藤公雄 (京都産業大学教授)	男女共同参画～男らしさの呪縛からの解放をめざして～	会場：60 オンライン：8

(4) 市職員対象の男女共同参画研修

回	開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1	R5. 12. 21	教育センター 中村和子 (オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー)	男性職員の育休取得大作戦！	24
2	R5. 12. 22			14

(5) 市民企画講座

男女共同参画社会を実現するために、男女共同参画センターが実施する事業の他に、地域で活動している市民や団体と協働して取り組む事業として、市民や団体が企画する男女共同参画に関する講座を公募し、講座を実施するための支援を行った。

ア 募集期間 6月1日～8月1日

イ 募集件数 1件

ウ 実施団体 竹の活用研究会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R6. 3. 9	市民活動センター 篠原嘉一 (NIT 情報技術推進ネットワーク(株)代表取締役)	みんなで知っておきたいメディアのリスク	10

(6) 啓発

ア 男女共同参画週間啓発展示

6月23日から29日の「男女共同参画週間」中、市役所プロムナードでパネル展を実施した。

イ 11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、市役所入口の風除室で

パネル展を実施した。

ウ その他の啓発

	実 施 日	場 所	行 事 名	内 容
1	R5. 5. 24～R5. 6. 30	別所町公民館	文化祭等	パネル展示により 性的マイノリティ に関する理解を深 めるための啓発等 を行った。
2	R5. 6. 9～R5. 6. 16	自由が丘公民館		
3	R5. 7. 2	教育センター		
4	R5. 8. 8～R5. 8. 31	志染町公民館		
5	R5. 8. 20	文化会館		
6	R5. 9. 11～R5. 9. 29	中央公民館		
7	R5. 10. 6～R5. 10. 30	緑が丘町公民館		
8	R5. 10. 16～R5. 11. 17	口吉川町公民館		
9	R5. 11. 6～R5. 11. 13	細川町公民館		
10	R5. 11. 8～R5. 11. 13	青山公民館		
11	R5. 11. 24～R5. 11. 27	中央公民館		
12	R5. 12. 1～R5. 12. 15	吉川町公民館		
13	R5. 12. 8. ～R5. 12. 10	総合隣保館		
14	R6. 1. 15～R6. 1. 31	三木南交流センター		
15	R6. 1. 31～R6. 2. 29	別所町公民館		
16	R6. 3. 1～R6. 3. 29	中央図書館		
17	常設	マックスバリュ恵比 須店	—	
18	常設	マックスバリュ三木 北店	—	
19	常設	マックスバリュ別所 店	—	

(7) 情報誌の発行

情報誌編集グループの協力を得て企画、編集を行い、A4 判 4P の情報誌「こらば一よ」を発行した。

ア 発行回数 4 回

イ 発行部数 約 5,000 部/回

ウ 配布方法

(ア) 市内公共施設全般、大型店舗、公共交通機関の駅、近隣市町などへの配付

(イ) 各自治会での回覧

(ウ) 男女共同参画センター主催事業の参加者への配布

エ 発刊号名称、掲載内容等

発刊号名称	テ ー マ	主な掲載内容
64 号 2023・春	男性のジェンダー	・男性も「育児休業」を取りやすい社会へ ・主夫日記「男性の生きづらさ」 ・ジェンダー平等を実現しよう
65 号 2023・夏	みんなが働きやす い職場とは	・男性目線で女性が働きやすい職場を考えてみる ・産休を取らずに退職した私～次の世代によせて～ ・将来長く働くために必要な事を考える

66号 2023・秋	身の周りにあるマイクロアグレッション（小さな攻撃）	・主夫日記Ⅳ「マイクロアグレッション」を防ぐには？ ・家を快適に整えるのは母の役目なの？ ・令和5年度男女共同参画週間記念講演会リポート ・職場で起こる「マイクロアグレッション」について
67号 2024・冬	真摯な同意	・主夫日記「弁護士による法律セミナー」レポート ・「世の中は変わってきている」～男性も性被害について声を上げることのできる社会をめざして～ ・対等な関係が築けていますか？

(8) 三木市男女共同参画センター運営委員会

ア 任 期 2年（令和5年5月1日～令和7年4月30日）

イ 委 員 数 14人（女性11人、男性3人）

ウ 活 動 内 容 男女共同参画センターの運営、事業及び取組に協力するとともに協議を行う。

エ 開催回数 6回（内2回は書面開催）

(9) 女性のための相談室

女性問題相談員（2人、1日1人対応）が、男女共同参画センターで電話相談及び面談に応じている。

ア 相談日時

(ア) 電話相談 毎週火曜日 午前10時～正午、毎週木曜日 午後1時～4時

(イ) 予約相談 毎週火曜日 午後1時～4時、毎週木曜日 午前10時～正午（電話・面談）

イ 相談件数

288人（電話270人、面談18人）から相談があった。内容別相談件数は409件（電話386件、面談23件）となっており、主な相談内容は次のとおりである。

ウ 内容別相談件数の順位

順位	相談内容	件 数	割 合（％）
1	家族関係	219	53.5
2	対人関係	76	18.6
3	夫婦関係	41	10.0

(10) 女性のための弁護士相談

配偶者や交際相手とのトラブル（DV、ストーカー被害、借金）、離婚（親権、養育費、財産分与）などの女性の悩みに理解のある女性弁護士が行う面接相談（無料）を実施した。

ア 相談弁護士 兵庫県弁護士会から選任された弁護士

イ 相談日時 毎月第4水曜日 午後1時50分～午後4時30分（1人40分）

ウ 相談人数 42人

(11) 婦人相談

婦人相談員が、配偶者や交際相手とのトラブルについて電話及び面談で相談に応じている。

ア 相談日時 毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで

イ 相談件数 534件（電話407件、面談127件）

ウ 相談者実人数 130人

エ 関係機関への連絡 17件

オ 証明書発行 19件

(12) 女性のための出前チャレンジ相談（兵庫県と共催）

再就職、起業、資格取得などをめざす女性のためのチャレンジ相談を実施した。

ア 相談日時 1月19日 午前9時～正午（1人50分）

イ 相談員 飯鉢仁弥（キャリアコンサルタント、産業カウンセラー）

ウ 相談人数 3人

(13) 男女共同参画センター登録グループの活動支援

女性の地位向上、男女共同参画社会の実現をめざした学習活動を行うグループや、女性の社会参加を促進し実践するグループに対し、活動支援を行った。

	グループ名	会員数	活動内容
1	情報誌「こらぼーよ」編集グループ	6	男女共同参画センター情報誌の企画・編集、市民への情報の周知など

(14) DV 被害者の新たな生活応援事業「こらぼーよステーション」

お金や身の回りの物を持ち出せずシェルターなどに緊急避難した DV 被害者が、シェルター退所後に自宅以外で新たな生活を始められるように、自宅で不要になった生活物資の寄贈を市民に呼びかけ、寄贈を受けた物資を DV 被害者に提供することにより、新たな生活を始める手助けを行った。

ア 寄 贈 者 2人

イ 寄贈物品数 43 点（台所用品：17 点、日用雑貨：5 点、文具類 2 点、その他 19 点）

(15) 図書・情報の提供

ア 男女共同参画センターの一面を男女共同参画社会の実現を目的とした個人やグループでの活動に自由に利用できる場所として提供している。また、女性・男性問題や男女共同参画に関する図書を整備し、貸出も行っている。（貸出は 1 人 5 冊、2 週間）

(ア) 所蔵数 図書 2,588 冊、ビデオ・DVD 51 種類

(イ) 利用者 6 人

(ウ) 貸出数 39

イ 各地の男女共同参画センターが発行している情報誌や講座案内のチラシなどを配架し、自由に閲覧・配布できるようにしている。

4 人権相談事業

人権擁護委員（11 人）による相談事業を実施した。

(1) 定例相談

日時・会場	毎月第 1 金曜日	午後 1 時～4 時	緑が丘町公民館
	毎月第 3 木曜日	午後 1 時～4 時	市役所 2 階入札控室
	5、10、3 月の 第 2 木曜日	午後 1 時～4 時	吉川支所相談室

(2) 特設相談

人権擁護委員の日	6 月 2 日	午後 1 時～4 時	緑が丘町公民館
人権週間	12 月 7 日	午後 1 時～4 時	吉川支所相談室

5 人権教育事業

(1) 人権教育指導員研修会

社会教育における人権教育・啓発の推進リーダーとしての資質の向上を図るため実施した。

回	開 催 日 ・ 会 場	研 修 内 容	参加人数
1	R5. 4. 27 総合隣保館	委嘱、令和 5 年度の活動及び研修計画等の資料配布 前年度の成果と課題について	16
2	R5. 5. 20 市民活動センター	三同教総会 各専門部会	5
3	R5. 5. 25 総合隣保館	障がいのある人と人権 障がい者スポーツ体験	13
4	R5. 6. 8 総合隣保館	人権作文・標語の審査会	13
5	R5. 6. 9 教育センター R5. 6. 16 吉川町公民館 R5. 6. 23 教育センター	同和教育セミナー	18

6	R5. 7. 8 姫路市	視察研修：姫路市人権啓発センター、 姫路市平和資料館	14
7	R5. 7. 22 三木市	東人教研究大会	6
8	R5. 8. 20 文化会館	市民じんけんの集い	15
9	R5. 8. 31 総合隣保館	DVD 映画「破戒」鑑賞	20
10	R5. 9. 28 総合隣保館	同和問題について	14
11	R5. 10. 17 総合隣保館 R5. 10. 20 吉川町公民館 R5. 10. 24 総合隣保館	人権フォーラム	15
12	R5. 11. 18 市民活動センター	三同教研究大会	7
13	R5. 12. 9～R5. 12. 10 総合隣保館	隣保館文化祭 展示 6 日～10 日 講演「ネガティブは駄目、ポジティブ でいこう」 講師：江嶋修作	10
14	R5. 12. 21 総合隣保館	DVD「ネット差別を許すな」視聴 住民学習情報交換	14
15	R6. 1. 27 京都府宇治市、 京都市	視察研修：ウトロ平和祈念館、 清水寺	10
16	R6. 3. 14 総合隣保館	人権啓発 DVD「大切なひと」の視聴 今年度の反省とまとめ	14
合 計			204

(2) 人権教育に関する講座

市民の人権意識の高揚を図るため開催した。

回	開催日・会場	研 修 内 容	参加人数
1	R5. 8. 20 三木市文化会館	市民じんけんの集い 「差別をなくする輪をひろげよう」 市民運動作品表彰式 ・人権作文・標語・ポスター優秀作品の 表彰 ・人権作文朗読 ・講演&トーク 『人から人へ』～戦争のない世界へ ～ 講師 被爆体験者 近藤 紘子 インタビュアー 亀山さゆり 江川 裕樹 ファシリテーター 井上 直樹 ・バリアフリー映画会 『ミラベルと魔法だらけの家』上映	590

2	R5.12.10 三木市総合隣保館	総合隣保館文化祭 ・市民団体等作品展示 ・記念講演 『ネガティブは駄目、ポジティブでいこう』-人権・同和教育メッセージを少し変えるために- 講師 解放社会学研究所 所長 江嶋 修作	371
---	----------------------	---	-----

(3) 社会教育指導者養成

住民学習の学習内容・実施方法等を学ぶため、住民学習の指導者に対し実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習指導者研修 住民学習リーダー研修	実施回数 22回 参加者人数 972人 行政職員、教職員、人権教育指導員他 各地区地推協等で実施	年 間	各公民館 市役所

(4) 住民学習

人権尊重のまちづくりを進めるため各自治会・各地区人権・同和教育推進協議会で実施した。

事業名	内 容			実施日	実施場所
住民学習会	三 木 地 区	44 回	641 人	R5.7 月 ～R6.3 月	各 地 区
	三木南地区	8 回	172 人		
	別 所 地 区	15 回	246 人		
	志 染 地 区	13 回	330 人		
	細 川 地 区	214 回	437 人		
	口吉川地区	14 回	392 人		
	緑が丘地区	12 回	229 人		
	自由が丘地区	13 回	229 人		
	青 山 地 区	6 回	120 人		
	吉 川 地 区	41 回	548 人		
	合 計	380 回	3,344 人		
	地区別人権・ 同和教育研究 大会	三 木 地 区	参加者	300 人	R5.11.25 ～11.26
内 容		<人権ミニフェスティバル> 人権ポスター展示・人権クイズ 展示・人権作文発表会			
三木南地区		参加者	35 人	R6.1.20	三木南交流 センター
内 容		「自分らしく生きる」を考えてみま しょう」～私は私らしく、あなたは あなたらしく～			
講 師	関西国際大学 保健医療学部 准教授 久井 志保		R6.2.4	別所町 公民館	
別 所 地 区	参加者	82 人			
内 容	「歌でつながる地域の輪」 ～被災地支援の活動を通じて～				
講 師	石田 裕之				

志 染 地 区	参加者 51 人		
内 容	「つらい気持ちに寄り添うために」	R5.10.29	志 染 町 公 民 館
講 師	ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香		
細 川 地 区	参加者 72 人		
内 容	「キラキラ☆バツタくん コンサート」	R5.11.26	細川町 公 民 館
講 師	ムジカドルチェ 藤田 紀子 他		
口 吉 川 地 区	参加者 55 人		
内 容	「いのち輝いて生きる」	R5.12.2	口 吉 川 町 公 民 館
講 師	人権テイク・ルート 代表 坂田 かおり		
緑 が 丘 地 区	参加者 100 人		
内 容	「地域づくりはお互いを尊重する心から」	R6.2.11	緑 が 丘 町 公 民 館
講 師	motto ひょうご 事務局長 栗木 剛		
自由が丘地区	参加者 104 人		
内 容	「共に生きる力を育てる」	R6.2.18	自 由 が 丘 公 民 館
講 師	公認心理師 臨床心理士 スクールカウンセラー 中村 経子		
青 山 地 区	参加者 36 人		
内 容	「ひと・まち・であいセミナー」	R6.2.4	青 山 公 民 館
講 師	関西国際大学 客員教授 斉藤 容子		
吉 川 地 区	参加者 77 人		
内 容	人権講義・落語 ～いじめられっ子の僕が落語家になったわけ～	R6.1.20	吉 川 町 公 民 館
講 師	林家 染太		

(5) 団体別学習

婦人会、PTA、老人クラブ、民生委員児童委員等の団体別学習を実施した。

事 業 名	内 容	実 施 日	実 施 場 所
団体別研修会	婦人会・老人クラブ・登録団体 26 回 648 人	年 間	各地区
保・認・幼・小・中・ 特別支援学校 PTA 人権・同和研修会	保・認・幼稚園(所) 10 園 参加者 333 人 小・特学校 14 校 参加者 1,635 人 中学校 5 校 参加者 307 人	年 間	各学校

(6) 人権教育総合推進事業

ア 教育事業

人権尊重の仲間づくりや地域づくりをするために実施した。

事業名	回数	参加人数	場所
A 地区教育事業	成人	0	各地区公民館・集会所等
	青少年	44	
B 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	0	
C 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	55	
D 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	0	
E 地区教育事業	成人	6	〃
	青少年	47	
F 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	0	
G 地区教育事業	成人	1	〃
	青少年	39	
H 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	0	
I 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	53	
J 地区教育事業	成人	0	〃
	青少年	17	
教育事業 学習交流会	R5.11.11 参加人数 129 人		三木山総合公園 総合体育館

イ 人権リーダー育成講座

人権学習会等で、リーダーとして活躍できる人材の育成をめざして実施した。

回	開催日・会場等	研修内容	参加人数
1	R6.2.9・中央公民館	人権リーダー育成講座:ファシリテーション研修	22

ウ 人権教育団体活動助成事業

市民団体等の人権に関わる教育活動を支援した。

登録団体名	活動内容
テアトロ三木	人権問題について演劇を通じて広く啓発
鳥町推進協議会	学習会やイベントを通じて人権意識高揚を図る
いのちを考える みき市民の会	いのちの尊厳を学ぶ人権学習会等の開催
人権書道きらきら	「書」を通じて自由に交流を楽しむ
まなびや・いちご塾	子どもの人権等、さまざまな人権学習の開催
NPO 法人自立生活 支援センター歩	さまざまな人権問題に関する講演会等の開催

6 人権啓発に関すること

(1) 啓発資料の作成

以下の資料を作成・編集し、配布した。

- ア 人権問題啓発資料「ふるさとに生きる Vol.33」・・・【市内全戸配布】
- イ 人権作文集第53集・・・【学校園他配布】
- ウ 第39回三木市人権・同和教育研究大会研究集録・・・【三同教関係団体配布】
- エ 人権・同和教育実践記録集第49集・・・【三同教関係団体配布】
- オ 視聴覚資料一覧・・・【学校、企業、各団体】

(2) 人権尊重のまちづくり推進強調月間

人権尊重のまちづくりの機運を醸成するため、以下の取組を実施した。

ア ポスター・標語・作文の募集

作品区分	ポスター（点）	標語（点）	作文（点）
小学校	3,174	3,291	2,042
中学校・特別支援学校	1,606	1,550	1,539
PTA・一般	募集せず	60	21
合 計	4,780	4,901	3,602

イ 広報活動

- (ア) スローガン入りウェットティッシュの配布
- (イ) 公用車の啓発マグネットシートの貼付
- (ウ) 啓発ポスター・標語ポスターの作成配布
- (エ) 「広報みき(8月号)」等による啓発
- (オ) 人権尊重のまちづくり推進強調月間街頭啓発（啓発カー市内巡回）
- (カ) みっきい広場において啓発ポスター等の展示
- ウ 「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品表彰式
 - (ア) 人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰
 - (イ) 人権作文朗読

7 三木市人権・同和教育協議会

三同教と連携することにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別を解消するための人権・同和教育の推進を図った。

(1) 総会、研究大会、専門部会研修会

人権・同和教育や啓発を進め、人権尊重のまちづくりを進める研修会や実践交流等を行った。

(2) じんけんサポート事業（26件）

PTAや老人クラブなどの団体や企業が人権研修会や視察・交流研修などを行う際の費用の一部を補助した。

(3) じんけんスタディ事業（中学校2件、高等学校1件）

若者層への人権意識の高揚、啓発のため中・高・大学生を対象として、デートDV・情報モラル・LGBTQなど、幅広い内容の人権研修を実施する中学校、高等学校に対し経費の一部を助成した。

(4) じんけん・こころの小窓事業（毎週2回）

人権についての身近な話題をラジオ番組で提供した。

(5) じんけんフィールドワーク事業（1回）

人権にかかわりのある地域などを訪れ、差別の歴史や人々の思いなどを学ぶことにより、差別や偏見を解消していく機運を高めるための研修を開催する事業である。1月27日、京都府（ウトロ平和祈念館、清水寺）にてフィールドワークを行った。

(6) じんけんカレンダー作成事業（1,000部）

「じんけんフォト&メッセージコンテスト」の募集を行い、その入賞作品（特選・優秀賞・入選の12作品）を掲載したカレンダーを作成した。市民への人権啓発を進めるため学校や公民館等の場で一年間見てもらえるようカレンダーに掲載・作成し、配布した。

(7) 学習活動支援事業

東人教研究大会資料の配布や書籍購入等、人権教育・啓発活動の活性化を図った。

(8) 人権ふれあい交流事業

5月にふれあいスポーツデー事業を文化・スポーツ課と共催でホースランドパークにて実施し、スタッフとして18人の参加があった。8月にはバリアフリー映画会として「ミラベルと魔法だらけの家」を上映し、親子で228人の参加があった。

(9) 青少年教育補助事業（8件）

子どもたちのたくましい心を育てていくため、地域に根差す人権団体に対し、教育事業に係る経費を助成した。

(10) スリーサポーターズ登録制度（61人）

三同教の活動に興味を有する地域住民の方をスリーサポーターズとして登録し、活動に参画していただくことで、三同教の活動の活性化を図った。

(11) インターネット差別書き込みモニタリング事業

市からの受託事業。インターネットのモニタリングにより差別的な書き込みを早期発見し、サイト管理者等に削除依頼し拡散防止並びに抑制を図った。また、このような現状を周知し、市民からの情報を受け付け、差別解消に向けた取組の必要性を啓発した。

ア 監視回数：102回

イ 発見件数：8件

ウ 削除依頼件数：8件

エ 削除済件数：3件

8 総合隣保館事業に関すること

(1) 隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催した。

回	開催日	審議内容	参加人数
1	R5.6.26	(1) 委員長、副委員長の選出について (2) 令和4年度総合隣保館事業実施状況について (3) 令和4年度総合隣保館利用状況について (4) 令和4年度総合隣保館事業における成果と課題 (5) 令和5年度総合隣保館運営方針（案）について (6) 令和5年度総合隣保館事業計画（案）について (7) その他	10
2	R6.3.12	(1) 令和5年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和5年度総合隣保館利用状況について (3) 令和5年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和6年度総合隣保館運営方針（案）について (5) 令和6年度総合隣保館事業計画（案）について (6) その他	11

(2) 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより

生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区 分	内 容				相談件数
相談事業	・経営相談	17 件	・人権相談	20 件	計 119
	・税務相談	68 件	・福祉相談	0 件	
	・金融相談	3 件	・教育相談	0 件	
	・労働相談	0 件	・職業相談	0 件	
	・生活相談	0 件	・生活相談	0 件	
	・経理相談	11 件	・その他	0 件	

(3) 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区（集会所）等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
陶芸教室	可愛いパン皿を作ろう	1	10

(4) 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、人権フォーラム等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

ア 啓発活動事業

(7) 同和教育セミナー

市民が同和問題を正しく理解し、解決するために必要な知識を得るための研修の場として6月に3回実施した。

開催日	内 容	参加人数
R5. 6. 9	テーマ 「部落差別解消過程の現段階と問題克服への課題」 ～解放令発布 150 年・水平社創立 100 年の地平からの考察～ 講師 部落解放論研究会 代表 谷元 昭信	105
R5. 6. 16	テーマ 「爺さんの独り言」 ～これからの人権教育を考えるために～ 講師 元小学校長 島田 恒夫	88
R5. 6. 23	テーマ 「三木の部落解放運動 50 年の歩み」 講師 橋田 好正	99
合 計		292

(イ) 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、市民の方が経験や思いを発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

開催日	内 容	参加人数
R5. 10. 17	作文朗読「色覚異常は面白い」 平田小学校 5 年 竹下征吾 「絆カフェ『カリヨン』の活動を通して」 関西国際大学 絆カフェ「カリヨン」副店長 木村優海、吉留翼、橋爪愛翔 「みんなで行きたい『スマイル学級』」 三木市立吉川小学校 主幹教諭 永杢郷子 「どんな私でも大丈夫」 なおみ助産院 院長 寺尾直美	79

R5. 10. 20	作文朗読「二歳の妹に教えてもらったこと」 三木中学校 3 年 三宅和音 「子ども大人も幸せであるために」 別所認定こども園 園長 藤本恵美 「子どもから教えてもらった様々な事」 里親として母として 10 人の子どもを育て、現在 11 人目の お母さん 猶原恵理 「息子との出逢いと別れ」 三木市議会議員 大西秀樹	86
R5. 10. 24	作文朗読「すぐ行動」 別所小学校 6 年 前田采音 「人権教育、同和教育についておもう」 浦 佑里佳 「私が日本社会から受け取ったもの 私が返していくもの」 ～外国籍の両親の子どもとして育て～ 三木市国際交流協会 会員 バレンスエラ エド 「不登校の子供達が教えてくれたこと」 S-BASE 代表 清水ひとみ	72
合 計		237

(㍑) 文化祭記念講演会等

12 月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施した。

本年度は、感染症対策を講じながら総合隣保館で開催した。

・記念講演

『ネガティブは駄目、ポジティブでいこう』

～人権・同和教育メッセージを少し変えるために～

解放社会学研究所 所長 江嶋修作

(㍑) 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

・視察研修会

開催日	内 容	参加人数
R5. 10. 7	長島愛生園 ・見学 ハンセン病及び園について詳しく説明を受け学習し、展示を見学した。 ・フィールドワーク 説明を受けながら島の史跡めぐりを行った	27

・フィールドワーク

開催日	内 容	出席人数
R6. 1. 27	・ウトロ平和祈念館 戦後、日本社会から「置き去りにされた」朝鮮人のまちで様々な困難や差別に立ち向かってこられた人々の歴史や思いが詰まった資料館とその周辺において、人権学習を深めた。 ・清水寺周辺人権史跡 ガイドの説明により、阿弭流為（あてるい）・母禮（もれ）の碑をはじめとする人権史跡を巡りながら学習を行った。	43

(カ) 図書の充実と利用

- ・貸出冊数 50 冊
- ・貸出人数 26 人
- ・購入冊数 28 冊（一般 0 冊、子ども 28 冊）

イ 広報活動事業

(ア) 隣保館だよりの発行

- ・発行部数 毎月発行 4,750 部
- ・配布先 市内全自治会（回覧または配布）、公共施設等

(イ) 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- ・発行部数 950 部（年 1 回）
- ・配布先 各種団体代表、教育機関、公共施設等

(5) 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。今年度新たにエアロビクス講座を開始した。

ア 教養文化講座

No	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	手芸サークル	19	61	-	月 2 回
2	茶道教室	19	64	杉本 さわゑ	月 2 回
3	書を楽しむきらきら 書道教室	11	120	藤原 常貴	月 1 回
4	エアロビクス講座	12	136	寺坂 恵美子	月 2 回
5	スマートフォン体験講座	1	19	スマートフォン アドバイザー	R6. 3. 19
計		62	400		

イ 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
フラワーアレンジメント教室	R5. 12. 28	テーマ「新春を生ける」 講師 田中 真紀	10
	R6. 2. 22	テーマ「おひなさま」 講師 田中 真紀	10
合 計			20

ウ 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

(ア) 夏休み子ども教室

実施期間 7 月 31 日～8 月 25 日（10 日間）

延べ参加人数 80 人

(イ) 子ども教室

物づくりに興味をもたせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を養うために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	17	85	館職員	主に第 2・4 土曜日

交流ハイキング	1	10	館職員	R6. 3. 26
計	18	95		

(り) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの人が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、4年ぶりに記念講演を含め、すべての行事を総合隣保館で実施した。

開催日	実施内容	出席人数
R5. 12. 10	開会行事 RASH (ダンス) 舞台発表 大空学級 (詩吟) ねえにーず (沖縄の歌) テアトロ三木&杉の子学級 (人権劇) 記念講演 「ネガティブは駄目、ポジティブでいこう ～人権・同和教育メッセージを少し変えるために～」 解放社会学研究所 所長 江嶋 修作 抽選会 受付で抽選番号を渡し、抽選箱から番号を取り出し抽選 バザー 生活介護じゃがいもの家 物品販売 大空学級 花の苗の販売	191
R5. 12. 9	子どもたち全員集合 ゲーム (輪投げ、シャトルダーツ、ボッチャ じんけんカードめくり)	10
R5. 12. 6～ 12. 10	隣保館関係団体等による作品展示	180

(6) 社会調査 (高齢者単独世帯への訪問活動)

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、1月～2月に実施した。

(7) 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を作成中。

(8) その他

隣保館高圧ケーブル更新工事

引込柱～キュービクルへの高圧ケーブルの更新

令和5年9月15日～10月31日

工事費 957,000円

9 子どもいじめ防止センターに関すること

(1) いじめ相談等の受付及び対応状況

ア 相談日及び時間 月曜日～金曜日 (祝日、年末年始除く) 午前9時～午後5時

イ 相談受付の件数内訳 (月別)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
方法	面接相談			1	1				1					3
	メール相談						1		1					2

	電話相談					1		1	1	1	1		2	7
内容	いじめ				1	1	1	1	2	1			2	9
	その他（※）			1					1		1			3
相談者	本人			1			1							2
	家族				1	1		1	1	1				5
	友人・知人・地域								1				2	3
	学校・関係機関								1		1			2

※ その他・・・過去の相談対応への感謝、家族関係の悩みなど

ウ 対応状況

相談者に寄り添い、傾聴するとともに、相談者と共に解決方法を考える姿勢で相談を受けた。相談者の了解を得た上で学校等への情報提供を行った事案については、情報提供後も学校に様子を聞くなど、教育委員会や学校と連携し解決に努めた。

なお、子どもいじめ防止センターへの相談のうち、子どもの生命、心身又は財産に関わる重大ないじめ事案はなかった。

(2) 広報・啓発活動

ア 啓発カードの配布

学校や公共施設等に設置した。

イ 啓発クリアフォルダーの配布

7,000 枚を作成し、全小中学生に配布した。

ウ 啓発ポスターの掲示

ポスターカレンダー700 枚を作成し、学校、自治会、公共施設、病院、大型店舗などに掲示を依頼した。

エ 子どもいじめ防止センターだよりの発行

親子でいじめについて話し合うきっかけづくりとして、A4 判 4P のセンターだより「ハートフル」を各学期に 1 回発行し、全小中学生の家庭に配付するとともに、市内各自治会へ回覧した。

発行番号	発行月	内 容	発行部数
30 号	令和 5 年 7 月	知っておこう「いじめ防止法」！	各 10,000
31 号	令和 5 年 12 月	いじめの原因は“空気”？！	
32 号	令和 6 年 3 月	「いじめ見逃しゼロ」をめざそう！	

オ 弁護士によるいじめ防止出前授業の実施

弁護士が、人権の視点からいじめについての出前授業を行うことにより、いじめを防止する意識を育成するため、兵庫県弁護士会の協力を得て、中学校 3 校 9 クラスで実施した。

カ いじめ防止出前講座の実施

いじめ防止対策に特化した児童向けの講座として、いじめ防止出前講座を小学校 1 校で実施した。

(3) 教育委員会及び学校との連携

教育委員会といじめ防止対策推進法に関する市の対応やいじめ防止に関する取組に関して情報交換などを行った。

また、市内小中特別支援学校全 20 校を訪問し（1 学期：20 校・2 学期：11 校）、学校いじめ防止基本方針の策定状況や学校の状況を聞くとともに、対応や連携について話し合った。